

第2回協議会 議事録

令和元年11月19日(火) 18時00分～19時30分

登別中央ショッピングセンターアーニス2階会議室

- ◆出席委員 齊藤 正史 会長
望月 一延 副会長
松山 哲男 委員
北山 智加子 委員
宮武 祥子 委員
成田 昭浩 委員
計6名

- ◆事務局：商工労政グループ 大澤総括主幹
林倉 主査
田村 担当員
宮谷 担当員

- ◆議題：(1) バンジージャンプ企業の誘致について
(2) 市内の各産業における問題・課題について
(3) その他

【要旨】

項目	発言者	内容
1. バンジージャンプ企業の誘致について	会長	<p>本日は大変お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>これより第2回登別市中小企業地域経済振興協議会を開催いたします。</p> <p>お手元に配布されている次第に沿って進めていきます。</p> <p>まずは、次第(1)「バンジージャンプ企業の誘致について」事務局から説明をお願いします。</p>
	事務局	<p>7月25日に開催された第1回協議会の際にバンジージャンプ企業の誘致について説明ができなかったため、今回詳細についてご説明いたします。</p> <p>商工労政グループでは、市内経済や雇用の維持・向上を図るとともに、個性ある地域の産業集積の形成、活性化を図ることを目的に道内外企業への訪問を行い、市内への企業誘致を図っております。</p> <p>新たな産業振興や滞在型の観光を目指すため、平成30年度末に、国や自治体の橋を利用しバンジージャンプを実施している企業へ訪問し、新登別大橋における日本一高いバンジージャンプ実現の可能性について話を伺ってきました。</p> <p>相手方からは、120Mの高さや観光客数、周辺人口などから見ても魅力的だ、常設というのはなかなか難しいが是非やりたい、との話を伺うことができました。</p> <p>しかし、新登別大橋は道道であるため、バンジージャンプ実現のためには北海道からの道路等の占用許可が必要となります。</p> <p>道路は、国民の税金を使って建設・維持管理される公共用物であることから、通常、一企業が利益を求める事業活動として占用許可を取ろうとしても、許可はおりません。</p> <p>しかし、地域における合意があることや地域住民・団体が一体となった取り組みであり、地域の活性化に関するイベントであれば許可がおりることがあります。</p> <p>そこで、当市といたしましては、地域住民や商店街、コンベンション協会などの団体に本件を説明し、地域産業振興の活性化の観点から地域が一体となるよう合意形成を進めていきたいと考えています。</p>
	会長	<p>事務局から、バンジージャンプ企業の誘致について、この協議会を中心にできないだろうかという話ですが、皆様からのご意見を伺いたいと思います。</p>

事務局	<p>補足ですが、北海道が所有している橋であり、北海道の土木現業所の許可を得るため道路占用許可申請を行った後、バンジージャンプの許可が下りるが、市内の地域住民関係団体が一体となってその地域の活性化に資する取り組みとしてバンジージャンプを行うという形で実施しないと許可されないということがあります。</p> <p>まずは、本協議会や市民自治推進委員会の産業躍動部会、市内事業者の方や国際観光コンベンション協会、地域住民や警察も巻き込んだ形で合意を得ながら進めていかないといけないものなので、お配りした資料のスキームのとおりに進めていきたいと考えています。</p>
会長	<p>新登別大橋は自殺する方が非常に多い場所でその対策の一つとしても期待できます。実際、実現するかどうかというのはわからないですが、その内容について少し協議できればと思います。</p> <p>北海道内でバンジーをやっているところはあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>日高でやっているところはあるようですが、飛び降りた後振り子運動するようなスウィングバンジーというもののようです。</p>
会長	<p>全国で見ても100m以上のものっていうのはあまりないようですね。</p>
副会長	<p>2か所くらいしかないようです。</p>
事務局	<p>常設されている一番高いバンジーは茨城県の竜神バンジーというところで、もし120mのバンジーができれば日本一になると考えられます。</p> <p>バンジージャンプは高ければ高いほど、お客さんが集まるという傾向はあるようです。</p>
委員	<p>今回は常設ではなくて期間限定でやってみるということになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>相手方からは、まずは期間限定でやってみたいとの話でしたが、市としては常設してもらいたいと考えてるので、期間限定でやっていただき、その後、常設に向けて進められればと思っています。</p>
委員	<p>自殺という面でマイナスがイメージが強いですが、それを防止するという事に繋がるのであればいいなと思います。</p> <p>ただ、バンジーだけではいかがなものかという気はしていて、大滝にある森の中の施設を登別でも本格的にやって、バンジーと組み合わせることができたらいいなと思います。</p>

		<p>登別では、こういった楽しみ方もあるんだよといった大きな構図の中の1つとして取り組むことが大事だなと思っております。</p> <p>もう一つは、リノベーションまちづくりという概念ができてきています。これは、既存の施設などをどのように活用していくか、新たな活用方法を考えるというもので、使われていないものを違う視点で使い方を考えてまちづくりをしていこうというものです。そうすると、この橋も今までは道路というものだけでしたが、リノベーションという考え方で使われるのが大事だと思っていますし、前段で言った森の中で新たな取り組むことも考えられますし、他の登別市内における遊休施設をどう使っていくかというきっかけづくりになるように取り組んでいくと、非常に幅広い捉え方の進展につながっていくと思います。</p>
	<p>会長</p>	<p>このバンジーの会社は、外国の方が経営しているそうなんです。外部の我々と違う人の視点も大事だと思います。なんとかこれを実現できるように進められればなと思います。</p>
	<p>委員</p>	<p>先ほど、リノベーションの大切さを話しましたが、市の公共施設、遊休地、あるいは民間でもいいんですが、行政だけでは限界があるので、民間企業の知恵、あるいは資金も出してもらって、行政と連携していくことが求められています。</p> <p>国内の企業でもいいですが、外国の方の視点でもいいので、幅広く大きくできれば面白いなと思います。</p>
	<p>事務局</p>	<p>先日、観光経済委員会の行政視察で委員と移動の際中に隣同士になりまして、本日のような話をしてきました。</p> <p>先ほども話のありました遊休地に関しても、こういった使い方があっていいのではないかと、といったご指摘もいただきました。</p> <p>そこで具体的な話が出たのが、川上自然公園の北海道企業局が管理している河川敷になりますが、その敷地を使って、キャンプ場をしてはどうなんだっていう話もちよとしてきました。</p> <p>ただキャンプ場するとなっても、なかなか採算が合わないっていうところもありますので、日本のアウトドアメーカーの方にキャンプ場の運営自体をお願いして、キャンプ場の運営プラス、その自社製品をそのキャンプ場でオリジナル商品をそこでしか買えないものを売るとかというような、収益性を考えたそのキャンプ場の経営っていうのが、今いろいろなところで見られるようになりました。</p>

	<p>視察から戻ってきてからは、さっそくそのようなことを検討しているところです。</p> <p>今回は、バンジージャンプというところで議題にさせてもらっていますが、これを取っ掛かりとして、市内の使われていない観光名所となりえるようなところをもう少し掘り下げて、可能性を探って行って、経済の活性化につながればいかなと考えています。</p> <p>ただ、いきなり全部やるというのはなかなかできないので、順序を追って行っているところです。</p>
委員	<p>提言書の中にもキャンプ場などいろいろなものを活用することとなっているので、やっぱりそういったことは大事なことで、登別に求められることだと思います。</p> <p>キャンプ場の話で、北海道内でもそういった大手のメーカーでも工場を作っていると思うので、そういったことができれば、企業誘致につながりますよね。</p>
委員	<p>遊休施設の活用については、議会の中でもカルルスのレストランやスキー場の夏場の利用などが出てます。</p> <p>道東の道の駅では、日本のアウトドアメーカーのショップもあるところがあります。役所の方のご尽力でショップの誘致をしたとのことで、アウトドアの需要だけではなく、様々なところからお客さんも来るということで企業を誘致したようです。</p> <p>また、キャンプ場に関しても、我々の狭い範囲のアイデアではなくて、世界を知っている大手企業が経営することによって、いろいろなアイデアもあるので、そういった企業を誘致するといったことを話したところでした。</p> <p>バンジーを誘致するというのはすごく話題性もあるしいいと思うが、アウトドアのアクティビティの広がりやつながりを作るためには、もっと全体的に考えていく必要があるのかなと感じました。</p>
委員	<p>今治市の駅前だったと思うが、台湾の自転車メーカーの店舗があるが、そこは大橋もあるのでサイクリングコースの拠点になっています。</p> <p>登別だけではなくて、胆振や道南でもコースを作っていく、拠点を登別にするといったような、いろんな構想を作っていくというのは大事だと思います。</p>
委員	<p>45都市交流の守山市でもその台湾の自転車メーカーを誘致して、琵琶湖の周りをサイクリングできるようにしたようです。</p>

	<p>今、委員でカルルスの自転車レースとかにもかかわっているの、そういったサイクリング系でもつながっていきけるのかなと思います。</p>
委員	<p>そういった広い捉え方をして取り組んでいけば、相乗効果も生まれてくると思います。</p>
副会長	<p>自転車人口も増えてるからいいと思います。</p>
委員	<p>工学院のところの坂も結構いい坂なんです。</p>
会長	<p>そういう人たちから話聞くのもいいかもしれないですね。</p>
副会長	<p>十分バンジーでも人は呼んでくれると思うんです。 その流れやつながりで、キャンプをしながらとかもいいと思います。</p>
会長	<p>前の協議会の中でも、地域資源ということで、話は出てました。</p> <p>今、特に小規模事業者が店じまいをしてしまうことが多くあり、今後事業継承なされないところが、ますます増えています。</p> <p>金融機関主催でセミナーを行うが、金融機関の人は事業承継がなされていないという実態を把握できないとはっきり話をしています。融資を通じてつながりがあるところは相談なども行えるが、そうではないところは分からず、ある日突然店じまいしているということになります。</p> <p>あるセミナーでは、事業承継をすれば、どんなに小さいお店でも、いくらかのお金に変えられるという話もありました。</p> <p>でも、店じまいをする人は、そうしたことのやり方もわかってないし、価値があるということもわからないからそのまま店を閉めてしまいます。そこがすごくもったいなくて、積み重ねればすごい金額になるはずなんです。</p> <p>そういったことを、登別においてワンストップでできる方法がないかと考えていて、行政任せでもなく、会議所でもできることは限られているので、何らかの機関や機能のあるものを構築したいと思っています。</p> <p>本当はこの協議会でもできないかと思っていたり、それから中小企業家同友会であれば、本来みんなで研究しあえる場になるが、今はなかなか難しい状況です。</p> <p>そうであれば、どこかでやらなければいけないなと思っています。</p>
委員	<p>前回の協議会での提言書にも載っているが、そういう場がなければだめですよ。</p>

	会長	<p>作らなければならないと思います。</p> <p>地域金融機関に実態を聞くと、マイナスの取引をしているところでない実態をつかめていない、ほとんどが逃していますという話を聞きます。</p> <p>それは室蘭でも登別でも同じだと思います。</p> <p>事業承継を行えば証券化できるというのもそんなに難しいことではありません。</p>
	委員	<p>やめていくお店にしても、ノウハウを持っているから、そういったものを集める情報銀行のようなものを作っていけば面白いと思います。</p>
	会長	<p>あんまり表に出さないで閉店したいという人もいるかもしれないが、そういった情報を蓄積していれば、マイナスをプラスにできるんじゃないかと思います。</p> <p>この人口の減り方とかを見ると、もっと並行してやらなきゃいけないことがほかにもあるかもしれません。</p>
	委員	<p>地元の企業がかかわりを持っていくというのが重要だが、限界があります。</p> <p>やはり、外部の手法やノウハウを引っ張ってきてやる必要があるのかなと思います。</p> <p>その中で、既存の企業らが、こういったかかわりができるね、という風にできないのかなと思っています。</p>
	会長	<p>ある人で、生産性の低い企業が社会的に存在する意味がなくなったということを話している人がいます。</p>
	委員	<p>少なからずいえることは、以前のような経済・景気というのはもうあり得ない、日本だけじゃなくて世界経済でもそう言えると思います。これ以上よくなることはあり得ないという前提の上で考えざるを得ないのではないのでしょうか。</p>
	会長	<p>その方は以前から企業再生などにも携わっている方でしょうから、こういった意見に至る過程というのはすごく大事だと思います。これを登別にも当てはめたらどうかというのも大事だと思います。</p>
	委員	<p>登別には年間400万人を超える人が来るが、これは大きな資源で、この方々からいかにお金を落とさせるかという算段が大事だと思います。</p> <p>その中で先ほども話したバンジーも含めた構想をどう立ち上げていくのか、それが出来上がっていくことによって地元の事業所がどうかかわっていくかを考えていく必要があると思います。</p> <p>行政がいろいろ行っているが、効果が出ないことは謙虚に受け止めなければならないと思います。</p>

	<p>では、なんでうまくいっていないのかというのをもう少し詰めていく必要があるのではないかと思います。</p> <p>登別で必要なものは何か、自分たちがどうかかわっていくかというような切口探しをしていかなければならないと思うんです。</p>
会長	<p>一度バンジーに話を戻して、この協議会が中心となってというやり方はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>協議会が中心となっていくとなったら、どういったことをしたらいいのでしょうか。</p>
会長	<p>協議会がどのように動きが取れるかというのは少し難しいかなと思います。</p> <p>ただ、この協議会はいろいろな立場の方が集まっていますので、市民を代表するところの組織に該当するので、ここを中心とするということになるかと思います。</p>
事務局	<p>市、中小企業者、市民が入った団体なのでそこで合意形成を取ることによって、地域の人と取り組んでいくということを言いたいと思っております。</p> <p>ただ、市が中心となって、道と交渉したりとか企業誘致の観点から、実際企業にアプローチするのは市となりますので、占用許可申請などの実務的なことは我々が担います。</p> <p>一方で、市だけで動くという許可が取れないということもありますので、市としてはこういった協議体の中で説明をしてご意見をもらって合意を得たうえで申請に来ているということをお話していきたいと考えています。</p>
委員	<p>道との交渉や事務的なことに関しては、市が行うということだが、地域の合意形成というところでは様々な団体があると思いますが、地域住民などが一体となって取り組むというところの仕組みがイメージがわかりません。</p>
委員	<p>協議会の役割は何かとなると、合意形成においてこの協議会が核となって対応できるのか、ということになります。</p> <p>様々な団体をこの協議会が核となってまとめるということが適切なかどうかという考え方だと思います。</p>
委員	<p>各団体に意見を聞くことはできると思うが、合意形成となると各団体それぞれで思惑があったりしてなかなか同じ方向をむけないということがある中で、まとめなければならないということですね。</p>
委員	<p>そうすると、バンジージャンプの誘致をきっかけに遊休施設の使い方の構想を大きく考えていかないとバンジーだけでは幅の広がり弱いかなと思います。</p>

会長	観光資源だけでも、全市の合意形成というのは難しいと思いますが、もう少し大きなものをイメージして現実的に具体化できるものがバンジーだという流れにしないと、いきなりバンジーのための協議会というようにはできないですね。
委員	もし協議会でやっていくのであれば、その辺を整理してやってかないと合意形成というのは難しいので、経済だけでなく健康面でも教育的にもいいというようにしないとダメだと思います。
会長	難しくしているのは自殺対策という部分が、表に出せない、文字にできない、でも目標の大きな部分になっているのを、どのように表現するかということだと思います。
委員	バンジーだけでは難しいかなと思います。他の自治体でも、福井市の東尋坊でバンジージャンプ案を出したときに、賛否が分かれて議論になったというのもあるようです。 全国的に自殺の名所をアクティビティに使って成功しているというような例ってあるのでしょうか。
副会長	今話をしている企業がそういった事例があって、以前はネットで調べても名所とかで出てきたが、今はもうそういったものは出てこないから自殺者が少なくなってるようです。
委員	水上町のバンジージャンプは県道のようなものでなくて、吊り橋とかそういったところで行っているのでしょうか。
事務局	そこは県で持っている橋で、常設しています。元々、町で持っている橋で移譲されて今は県で持っています。
委員	登別のこの一帯がキャンプ場やアウトドアの聖地のようになって、その一角にバンジーがあるということであればいいですね。
委員	少なからず、管理する土木現業所にこうした自殺の問題もあるからという話を対行政同士なら話せるけれども、市民にはあまり言えないので、明るい視点で話をした方がいいと思います。
事務局	自殺防止という視点ではなく、滞在型観光のひとつのアクティビティとしてこれを行っていきと持っていきたいと考えてます。地域経済の活性化に資する事業として、まずはバンジーに取り組んでいきたいと、その後、他の遊休施設の活用としてキャンプ場なども考えており、バンジーだけじゃないということでも話を進めていきたいと思っています。 ただ、この協議会が中心となって合意形成を図るというのは、違うのではないかという話でしたので、あくまでこの協議会は合意形成を図る団体の一つとして考えていかないといいないです。

	委員	この協議会は、どう進めていくかということの内々で話し合える場にはなるのではないかと思います。
	会長	この協議会でバンジーの誘致が発案されたという流れで、全市を巻き込むということの方がスムーズなのではないでしょうか。
	委員	そのためには、以前の提言書の中にもありますが、登別全体の構想をもう一度整理して進めていく必要があるということですね。
	会長	このバンジー誘致のいいところは、市でお金がかからないということですね。
	事務局	設置に関しても市ではなく、事業者が行うため市の負担は基本的にはありません。
	会長	バンジーについては以上です。
2. 市内の各産業における問題・課題について	会長	次に、次第（2）「市内の各産業における問題・課題について」事務局から説明をお願いします。
	事務局	<p>お配りした「登別市地域経済実態調査からみる問題・課題とその解決方法について」という資料をご覧ください。</p> <p>この資料は、平成27年度と令和元年度に実施した登別市地域経済実態調査の意見を抜粋し、そこから考えられる市内の各産業が抱える問題・課題をまとめた資料で、最後にはこの問題・課題を解決する方法について皆さんで話し合えれば良いなど考えています。</p> <p>項目の1や2では、平成27年度と令和元年度に実施した実態調査の意見を集約して記載しています。</p> <p>3の「登別市地域経済実態調査からみる問題・課題」では、過去実施した2回の調査から見て取れる、現在の登別の問題・課題について、大きく2つあると考えられましたので、その2つを記載しています。</p> <p>1つめは、後継者不足です。これは過去2回の調査に共通して意見があがっています。後継者不足については、令和元年度調査でヒアリングを実施した際にもそのような意見を伺ってますし、全国的にも、事業承継を当初から考えていない人も多いようです。中小企業や小規模事業者が多くいる登別では、人口減少が進む中、後継者不足で悩まれている方は多いと考えられます。</p>

		<p>2つめは、急速な人手不足です。平成27年度調査の意見で「人口減少により雇用機会が減少している。」という意見がありました。雇用機会が減少しているということは、人手が余っていると感じている事業者もいたようで、平成27年度調査では、その他の意見でも「人手不足」に関する意見はありませんでした。ところが、令和元年度の調査では、ここに記載があるとおり「新卒を採用したいが、大手に人が流れ、応募がない。」や外国人労働者に関する意見もあり、人手不足であることが伺えます。</p> <p>参考としてその下にも記載しておりますが、平成26年度の有効求人倍率は0.96倍ですが、27年度以降は1倍を超えて推移していたからも、人手不足が進んだことがわかります。</p> <p>最後に、4「問題・課題の解決方法について」ですが、実態調査を通じて改めて浮き彫りとなったこの2つの問題・課題を解決する方法について皆さんで考えられたらと思っております。皆様の意見をよろしくお願ひします。</p>
	<p>会長</p>	<p>事務局から説明のありましたことについて、当協議会では2つの問題に絞って話を進めていきたいと思ひます。皆様のご意見を頂戴できればと思ひます。</p> <p>4の枠には、協議会を構成する市、中小事業者等、市民と分けて記載がありますが枠にとらわれることはありませんので自由にご意見ください。</p>
	<p>事務局</p>	<p>なかなか難しい問題だと思ひますが、先日室蘭民報で掲載された内容で、室蘭の商工会議所が「むろらんキャリア教育センター」というのを設立してキャリア教育を実施していくという記事がありました。</p> <p>これは、小中学校や高校大学を対象に商工会議所会員が先生として学校へ出向き、地元企業の業務内容や役割を説明したり、職業体験等を行い、企業を知ってもらい地元根付く人材を育成していくというものです。</p> <p>登別市では、青嶺高校や明日中等教育学校や商工会議所、その他団体と連携して市内企業へのインターンシップを実施していますが、生徒の希望で行きたい企業を選んでいるので、生徒が知らない企業には選んでもらえないという現状があります。</p> <p>市内企業を市内の学生に地元企業を知ってもらい、少しでも地元目に向けてもらえるようにする取り組みを行うことによつて後継者や人手不足という問題解決をできればと考えています。</p>

	<p>この協議会でやるという形ではなく、室蘭でも室蘭市や商工会議所が連携してやるとなっているので、同じように登別市と登別商工会議所が連携してできないかということで検討していきたいと考えています。</p>
委員	<p>後継者についてはある程度理解できるが、人手不足についてはもう少し具体的にどういった分野で年齢層を求めているのかということ把握していく必要があると思います。</p>
事務局	<p>令和元年度実態調査の中で製造業や建築業や観光といった分野の各団体・企業から話を聞いたところ、新卒で入ってくる人が非常に少ないと聞いてます。</p> <p>仮に、新卒で入って数年経ち、技術を身に付けても、ネームバリューが大きい大手に流れてしまうということも非常に多いようです。</p> <p>自社の努力というものも必要ですが、最初に目を向けてもらうことも必要だと思うので、今回のような取り組みができないかなと思っているところです。</p>
委員	<p>若手の方が地元の事業所に入らないというのは、給与条件などが結構大きいと思うが、給与だけでない魅力をどのように作っていけばいいのか。</p> <p>もう一つが、高齢者などでもできる分野の仕事があるはずだから、そういった仕事をやってもらうようにした方がいいと思います。</p>
副会長	<p>それが難しいんですよね。</p> <p>職に合う人はいますが、そこにマッチする確率が高くなってしうんですよね。</p>
会長	<p>事業の持続性を考えると、新卒での採用は自分の会社にマッチする人材を育てていけば定着しやすいというのは経験的にわかっていますが、ガス協会でも市内学校に募集をかけてもいくら待っても応募がないような状況です。ほんの数年前までは何人も来て選考するくらいでした。</p> <p>希望する企業と方と供給する生徒がマッチしていないということがあって、市内学校の生徒は地元ではなかなか難しいということがあります。</p> <p>室蘭がやってるような室工大の卒業生を地元の企業にとというのは、現実的にはそうはなっていないようです。</p> <p>関東でも人が集まらないので、札幌ならある程度新卒が確保できるため、札幌で採用して送り込んでいると聞いたことがあります。</p>

委員	ある市内学校に地元就職はどうかと聞いたら、勤務条件、給与条件などがよくないから札幌とかほかのところに行ってますって話を聞きました。悩ましいですね。
委員	勤務条件を見たときに、やはり給料も見ますよね。全然違うとなったら、高いところへ行きますよね。
事務局	大手を好む思考もあります。親が知らないところはダメだというよな親御さんの意向というのもあるようです。
委員	学校の先生は大手に入りたいみたいなんです。学校の名前として。
会長	大手は毎年安定して採用をしているというところもあるようですからね。
事務局	大手でも最近見てネットを出しているようだが、中小企業からはそれは反則だよねという声もあります。
委員	工学院では、海外からの留学生が来て、職業体験とかで地元よりも札幌のホテルとかに行っていて、そちらを経験してしまうと地元にも何人か残っているが札幌に行ってしまう人が多くいるようです。
委員	登別温泉のホテルと札幌のホテルだと勤務体系が全然違って、登別だと朝からで給料が低いとなるとやっぱ難しいですね。
委員	若い子は、就職してみたら週休二日って聞いていたとか実際はサービス残業があるなど、話が違うじゃないかという人が多くいてやめてしまっているようです。
事務局	勤務条件については我々行政の方では難しいところはあるが、まずは就職の選択肢にもなっていないということもありますので、知ってもらうということが重要だということで今回のキャリア教育センターというような取り組みを考えているんですが、ご意見はありますでしょうか。
委員	インターンシップの件で、例えば企業情報が記載された紙面を並べてもイメージしにくいのではないかと思います。 受け入れる先の方の負担にもなってしまいますのですが、どういう仕事をしているかとかどういった人がいるのかなど、1日の流れが楽しそうに見えるような1分くらいの動画があって、元々この企業を考えていたけど、こちらの企業もいいのではないかというようなことが行えればいいと思いました。
事務局	紙面だけを見ても何の企業かわからないということがあるので、そういったPRをしていただき知ってもらうことが大事だと思っています。こうした機会を作ることができないかということも検討していきたいと思っています。

委員	<p>例えば望月さんのところなどで、麵を開発して、楽しいとかいろんな魅力をアピールするような募集は行ったことがあるのでしょうか。</p>
副会長	<p>行ったことはありません。</p> <p>同友会でも企業が集まって、そういったことを体育館などでブースを出してとかを行っています。ただ、それを行える企業というのは、人が足りてたりそういったアピールに長けているところがほとんどです。うちから見ると大きな企業がやっています。</p> <p>今回行おうとしているようなものに参加してくれる企業をまずは募集して、アピールに長けている企業の動画を見せながら、子供たちにPRするというのもいいのかなと思います。</p> <p>同友会では西胆振地域の企業を集めて説明会を行ったことがあるが、それだけではやはり人が来ないんですよね。</p>
委員	<p>登別の魅力に関するアンケートをやったときに、市内企業のおそこはおいしいんだとか、技術がすごいんだというような意見があがっていたんです。</p> <p>行政でできることという、中学生や高校生向けに市内企業の魅力を紹介を行っていくことも必要なのかもしれないですね。</p>
会長	<p>ホームページすらもない事業所はたくさんあると思うが、まず企業を検索して出ないところは最初から就職先の対象外になってると思います。</p> <p>そういうノウハウがない企業に関しては、露出させることが大切です。</p> <p>小学校の授業をやらせてもらっているというところもあるようです。火を使うことがなくなった児童たちは、火のつけ方がわからないので、そこから教えています。</p> <p>企業をアピールするのではなくて、まずはそういったことを経験してもらっていて、実際Uターンで地元に戻ってきた優秀な子をキャッチしているということもあるようです。</p> <p>北海道で就職して、たまに東京に出向くというのが嫌だという子が、地元で就職したいと考えて戻ってくることもあり、そういった子は収入が下がることはもちろんわかって就職します。</p>
委員	<p>このまちの魅力を考えないといけないと思います。学校生活の中で、登別にはこういった魅力があるよなというようなことが重要になるのかなと思います。</p>

委員	<p>地元に残っているととても優秀な子に、なぜ登別に残っているのかと聞いたら、青年部の人たちがやってる鬼花火だとかお祭りにすごく魅力を感じている、給料じゃない、と話をしていました。</p> <p>親にしてみれば、優秀な大学まで出たのに、と思うかもしれないが、本人はまちづくりがやりたいということでした。</p>
会長	<p>問題とか課題は浮き彫りになるがその解決策というのはいろいろな手法を考えていかないといけないですね。</p>
委員	<p>お店でもなんでも登別の魅力を作っていくといけないと思います。</p>
委員	<p>どのお店にしても会社にしても、どのように魅力を作っていくのかということでしょうね。</p>
委員	<p>この仕事をしたいとか、これをやりたいとかそういうことですね。</p>
会長	<p>そういった魅力にひかれてくる人たちの仕事は、割と狭い範囲のサービス業だったりするので、そういうのを見ていると、いろいろ補助金とかを使って起業したい人を支援するというのが、本来の仕組みづくりと少し違うのかなと思ってしまいます。</p> <p>市役所の職員では採用募集の状況はどうなのでしょう。</p>
事務局	<p>内定を出しても50%が断られるという状況ですので、内定を多めに出している状況です。</p>
委員	<p>新規採用の状況はわかっているが、早期退職が増えてきているので、厳しい話ですよ。</p>
委員	<p>先日、市内事業者が小学校で、仕事とは、働くとは何かというのを話しされたようです。そういった時間もできたらいいですよ。</p>
会長	<p>ゆとり教育がなくなると、そういった時間を作ることができなくなっているそうです。</p>
委員	<p>市役所の採用の話で、民間でも市役所でもそういう状況で、どうしていくのでしょうか。</p>
事務局	<p>採用に関しては、近年実施していなかった札幌での試験をやってきましたが、登別市だけではないが内定の辞退が増えてきている状況です。</p>
委員	<p>それは民間でも同じで、内定出しても断られるようです。</p>
副会長	<p>市内や室蘭、さらに虎杖浜の小学校が工場見学でうちの工場に来ていたが、自分までも配達に行くくらい人が足りず、今年は断りました。もったいないですが。</p> <p>小学生が来て作業風景みて袋詰めをやらせてあげると、ニコニコして喜んで帰っていくんです。</p>

	委員	その年代の経験や記憶はすごい残りますからもったいないですね。
	副会長	<p>同友会でも外国人労働者について勉強会を行ったが、かなりハードルが高いですね。</p> <p>外国人労働者も田舎には行きたくなくて、東京とか札幌で働きたいというのがあるようです。</p> <p>一番の課題は、受け入れるための処理をしてくれる企業が全国にはたくさんあるが、この辺にはないことで、そういったことをやってくれるところがあればいいなと思います。うちのような中小企業がやるとなるのは本当に大変です。</p> <p>ある市内食品製造業者では外国人労働者を受け入れているようだが、それはその担当者がいるようです。</p> <p>外国人労働者の登録機関としては伊達信金さんがやっているようです。</p>
	会長	<p>バンジージャンプに関しては、先ほど皆さんからいただいた意見をまとめて、具体的に進め、どういう組織がいいのかということも含めて、煮詰めていかなければならないと思います。</p> <p>次第（3）「その他」については、事務局から事前に連絡事項等がないことを伺っているので省略いたします。</p> <p>他に意見が今回はこれで終了となります。</p>
	一同	ありがとうございました。